

- ・懇談会はこれまで規模の大きい電磁気学会、地震学会、気象学会の持ち回りで世話役を務めてきたが、今後はESTO（地球科学技術推進機構）に事務局を置き、全学会が持ち回りで2年間世話役を行う。費用は全学会で分担する。来年以後、各学会は年間21,000円を分担する。
12. その他
- ・札幌で行われた国際オゾンシンポジウムは参加者が予想よりも多く、盛会であった事を関口理事が報告した。
 - ・気象研連主催のシンポジウム「大陸と気象」が秋季気象学会大会の前日、京都で行われる予定であることを木田理事が報告した。松井孝典氏、岩坂泰信氏が同シンポジウムを担当する。
 - ・次回常任理事会では評議員のあり方、メンバーについて議論する。

気象技術講習会のお知らせ

(社)日本気象学会は(財)気象業務支援センターと共催で気象技術講習会専門課程の第3回として「民間気象予報の技術」をテーマに行うことになった。平成5年の気象業務法の改正に伴い、民間でも気象庁長官の許可を受けて、一般を対象に独自の天気予報を行うことができるようになった。しかし、その手法などについては必ずしも十分に確立されていない。今回は気象庁予報部の担当官を中心とした講師陣により、実例を踏まえて講義を行う。

気象技術専門課程第3回「民間気象予報の技術」講習会の概要は次のとおり

- 内容：**局地予報の技術と事例、メソ数値予報、ガイダンスの利用、メソ気象予測の基本、ユーザーに適合させた予報など。
- 期間：**2000年12月18日(月)～20日(水)
09時30分～16時30分

- 会場：**(財)気象業務支援センター 講習室
東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル
- 受講料：**3万円
- 定員：**40名(定員になり次第締め切り)
- 申込先：**郵便はがきに「民間気象予報希望」と書いて
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17
東ネンビル
(財)気象業務支援センター
民間気象予報講習会係
- 申込期限：**2000年11月26日(日)(当日消印有効)
- 問い合わせ先：**(財)気象業務支援センター
民間気象予報講習会係
TEL：03-5281-0440, FAX：03-5281-0443
e-mail：methiroba@jmbsec.or.jp
詳しくは(<http://www.jmbsec.or.jp>)および
(<http://www.soc.nacsis.ac.jp/msj/>)のホームページに掲載する。